さあ帰ろう、ペダルをこいで（2008）

SVETAT E GOLYAM I SPASENIE DEBNE OTVSYAKADE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ブルガリア／ドイツ／ハンガリー／スロヴェニア／セルビア
色彩 Color
時間 105分
初公開日 2012/05/12
公開情報 エスピーオー
映倫 G

【キャッチコピー】
前を向いて行こう。

これは、故郷に帰る旅。
そして、自分を取りもどす旅。

【解説】
ブルガリアの歴史を背景に、共産党政権時代に離ればなれとなった祖父と孫が、タンデム自転車でヨーロッパ横断の旅をする中で喪失を乗り越えながら絆を取り戻していく姿を、ユーモアを織り交ぜ心温まるタッチで綴るヒューマン・ロード・ムービー。出演は祖父バイ・ダンに「アンダーグラウンド」のミキ・マノイロヴィッチ、孫のアレックスにカルロ・リューベック。監督はこれが長編２作目のステファン・コマンダレフ。
1980年代、共産党政権下のブルガリア。田舎町に暮らす少年アレックスは、バックギャモンの名人である祖父バイ・ダンからそれを教わる。やがて両親はアレックスを連れてドイツへと亡命する。25年後のドイツ。一家はブルガリアへの帰郷の途上で事故に遭ってしまう。両親は命を落とし、病院のベッドで意識を取り戻したアレックスは記憶をなくしていた。そんな孫を心配して、バイ・ダンがブルガリアからドイツへやって来る。自分のことさえ覚えていない孫に再びバックギャモンを教えるバイ・ダン。やがて快復したアレックスをタンデム自転車の後ろに乗せると、これで生まれ故郷のブルガリアへ向かうと宣言し、力強くペダルをこぎ出すのだった。

【クレジット】

監督	ステファン・コマンダレフ	Stephan Komandarev	
原作	イリヤ・トロヤノフ	Ilija Trojanow	
脚本	ステファン・コマンダレフ	Stephan Komandarev	
	デュシャン・ミリチ	Dusan Milic	
	ユーリー・ダッチェフ	Yurii Dachev	
	イリヤ・トロヤノフ	Ilija Trojanow	
撮影	エミル・フリストウ	Emil Hristow	
音楽	ステファン・ヴァルドブレフ	Stefan Valdobrev	
出演	ミキ・マノイロヴィッチ	Miki Manojlovic	バイ・ダン
	カルロ・リューベック	Carlo Ljubek	成人のアレックス
	フリスト・ムタフチェフ	Hristo Mutafchiev	ヴァスコ
	アナ・パパドプル	Ana Papadopulu	ヤナ
	ドルカ・グリルシュ	Dorka Gryllus	マリア

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.